

## シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	杉谷 武信	
学 科	航空学科		授業方法	ゼミ	
認定単位	4単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	公務員や社会人に必要な資質を獲得しつつ、公務員の合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験合格に必要な知識や論理的思考力、道徳性、幅広い視野、コミュニケーション能力が身につく。				
授業概要	各自の興味や関心、ならびに公務員合格に必要な能力(資料の探し方、読み方、レポートの書き方、プレゼンテーションの方法など)を身につけることを前提に、現代における諸課題(多様性の確保、災害対策、少子高齢化、防犯など)を知り、その現状や解決法を各自の資料調査やディスカッション、プレゼンテーションを通じて探っていく。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	前期ガイダンス 前期ゼミの方針ならびにアンケートの実施	19	後期ガイダンス 後期ゼミの方針ならびにアンケートの実施	
	2	文献の探し方 図書館・インターネットの利用法	20	近現代社会の特徴 近代化とは何か その意義	
	3	文献の読み方 効率的な資料の読み方	21	近現代社会の特徴 近代化とは何か その問題性	
	4	文献の読み方 実際に資料を読む	22	多様性とは何か	
	5	文献の読み方 クリティカルシンキングの方法	23	多様性のある社会を構想してみよう	
	6	レポートの書き方 テーマ設定・構成の方法	24	少子化の現状を知ろう	
	7	レポートの書き方 文献の参考・引用の方法	25	子育てがしやすいまちを構想してみよう	
	8	レポートの書き方 文献リストの作り方	26	高齢化の現状を知ろう	
	9	レポートの書き方 表現を洗練させる	27	高齢者が生活しやすいまちを構想してみよう	
	10	発表の方法 レジュメの作り方	28	犯罪の現状を知ろう	
	11	発表の方法 プレゼンテーションの方法	29	犯罪を防ぐために何ができるかを考えてみよう	
	12	議論の展開 司会・ディスカッションの方法	30	火災の実態を知ろう	
	13	議論の展開 ディスカッションをしてみよう	31	災害の実態を知ろう	
	14	各自の関心・テーマに沿ってレポートを書いてみよう	32	今後の災害被害を抑えるために何ができるかを考えてみよう	
	15	各自の関心・テーマに沿ってレポートを書いてみよう	33	日本と世界の安全保障体制の現状	
	16	各自の関心・テーマに沿ってレポートを書いてみよう	34	世界平和のために何ができるかを考えてみよう	
	17	レポート内容をプレゼンしよう	35	レポート内容をプレゼンしよう	
18	前期まとめ 前期全授業に関する質疑応答	36	後期まとめ 全授業に関する質疑応答		
成績割合	テスト		学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

## シラバス

科目名	社会科学 I a		担当者名	杉谷 武信	
学 科	航空学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	社会科学と人文科学を合わせて取り扱う。社会科学は政治や経済などの仕組みを理解し、人文科学は日本史や世界史、地理、思想を理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。かつ、現状の政治や経済を論理的に理解するなどして、それをもとにその現状を批判的にとらえる能力と、道徳性・視野の広さを身につける。				
授業概要	公務員試験に合格できる能力を身につけることを前提として過去問を解きながら授業を行う。 【社会科学】政治分野では日本国憲法における基本的人権、三権分立、選挙制度、国際連合の特徴やその意義、課題を学ぶ。経済分野では市場と企業の活動、そしてそれに関与する財政や中央銀行の金融政策の仕組みを学び、今日における自由主義政策や財政上の問題点を考え、かつそれらを解決するすべを考えていく。 【人文科学】頻出箇所に絞り込んで授業を行う。日本史・世界史は近現代史、地理は地図情報、地球環境、気候と土壌を中心に学修する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 前期授業の方針について	19	ガイダンス 後期授業の方針について	
	2	政治 夜警国家と福祉国家ならびに自由権と社会権の違い	20	経済 景気変動 物価上昇と下落の原因	
	3	政治 社会契約論 ホッブズ、ロック、ルソーの違い	21	経済 通貨制度 お金の価値の決め方	
	4	政治 日本国憲法の基本原理 大日本帝国憲法と日本国憲法の違い	22	経済 金融政策 物価や景気はどのようにコントロールされるか	
	5	政治 日本国憲法の基本原理 5つの基本的人権と新しい人権、憲法改正	23	経済 財政 租税は何のために用いられるか	
	6	政治 日本国憲法の統治機構 国会	24	経済 財政 租税と国債の種類 国はどのようにその活動資金を集めるか	
	7	政治 日本国憲法の統治機構 内閣	25	経済 日本経済の発展	
	8	政治 日本国憲法の統治機構 裁判所	26	経済 外国為替相場 円高・円安は私たちの生活にどのような影響を及ぼすか	
	9	政治 日本国憲法の統治機構 地方自治	27	経済 戦後の国際経済体制 WTOと地域経済統合の関係	
	10	政治 政党と圧力団体	28	日本史 近現代史(その1)	
	11	政治 選挙制度	29	日本史 近現代史(その2)	
	12	政治 国際政治 国際法 国際連盟	30	世界史 近現代史(その1)	
	13	政治 国際政治 国際連合	31	世界史 近現代史(その2)	
	14	政治 世界の政治制度 イギリスの議院内閣制とアメリカの大統領制の違い	32	地理 地図情報	
	15	経済 市場 需要と供給の関係が価格を決める	33	地理 地球環境	
	16	経済 独占・寡占市場 企業が商品の価格を決める	34	地理 気候と土壌	
	17	経済 企業の形態 企業の資金調達の方法	35	後期期末試験とその解説	
18	前期まとめ 前期全授業に関する質疑応答	36	後期まとめ 後期全授業に関する質疑応答		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>15%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す				

## シラバス

科目名	情報科学 I		担当者名	新井 愛美	
学 科	航空学科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学んだ上でMicrosoft Officeを業務で使いこなせるレベルまで習得する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	情報リテラシー全般を理解する。Officeを用い実務に対応したスキルを身につける。				
授業概要	情報機器の動作原理を知る。コンピュータで実践しながら情報処理の基礎について学ぶ。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業内容説明、文字入力確認と注意	19	Excel マクロ	
	2	Word 基本的な文書の作成	20	Excel まとめ演習	
	3	Word 図や表の挿入	21	Excel テスト	
	4	Word 表現力をアップする機能を使う	22	PowerPoint プレゼンテーションの作成	
	5	Word 長文レポートの編集	23	PowerPoint オブジェクトの挿入、アニメーション	
	6	Word まとめ演習	24	PowerPoint プレゼンテーションの構成を変更	
	7	Word テスト	25	PowerPoint スライドショーの機能、デザイン	
	8	Excel データ入力	26	PowerPoint プレゼンテーションの基本と流れ	
	9	Excel 表作成	27	PowerPoint 発表準備	
	10	Excel 表の編集	28	PowerPoint 発表準備	
	11	Excel グラフ作成	29	PowerPoint 発表	
	12	Excel データベースの操作	30	HTML 基本の確認、トップページの作成と編集	
	13	Excel 複数シートの操作	31	HTML サブページの作成、リンクの設定	
	14	Excel 関数の活用	32	CSS 基本とファイル作成	
	15	Excel 条件付き書式	33	CSSとHTMLファイルの関連付け	
	16	Excel 高度なグラフ作成	34	演習問題	
	17	Excel ピボットテーブル	35	課題作成	
	18	Excel データの取り込み	36	課題作成	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	各操作に関するアドバイス ミスの指摘	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>4 R<<実働実践型学習>>3 A<<主体的参加型学習>>3 G<<海外体感型学習>>0				
講師プロフィール	専門学校から大学講座、企業研修の実績あり				

## シラバス

科目名	特別講座Ⅱa		担当者名		
学 科	航空学科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	社会人として身につけるべきマナーを学び、就職活動に活かす。仕事の仕組み、組織人としての意識を高める。資格試験対策を実施し合格に繋げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	専修学校教育振興会主催『ビジネス能力検定(ジョブパス)』3級・2級の合格を目指す。				
授業概要	テキスト『実教 要点と演習 ビジネス能力検定 3級2023年度』『実教 要点と演習 ビジネス能力検定2級 2023年度』を使用する。自分の知らないルールやマナーを学び、社会人と同じ立ち居振る舞いができるよう実践する。単に資格取得を目標とするだけでなく、本当のビジネスマナーを学ぶ意識を持つことが必要である。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	科目設定の目的・授業進行・資格試験内容説明	19	お客様第一主義	
	2	自身のキャリアデザインを考える。働き方の多様化と現状を知る	20	肯定表現・敬語・クレーム対応	
	3	組織人としての8つの意識	21	接客・営業の進め方 会議運営	
	4	報告・連絡・相談のポイントと注意	22	チームワーク 2級ケースの問題対応	
	5	議事録の意義、会議の進め方	23	2級対策時事用語・IT時代の仕事の進め方	
	6	来客対応・訪問マナー	24	ロジックツリー・マトリクス・MECE 論理的思考と分析について	
	7	過去問に沿って、ここまでの復習	25	データの読み方・まとめ方、企画書とその他の文書	
	8	資格試験直前対策 ビジネス用語確認	26	日本の経済変化、為替、時事用語	
	9	ビジョンとドメイン、コンプライアンス、CSRについて	27	契約、社則、労働基準法、労働者の権利	
	10	働き方の変化、DX	28	2級合格を踏まえての過去問抜粋	
	11	社内文書と社外文書の基本	29	会社数字の読み方	
	12	情報収集の方法と活かし方	30	自身の強みと活かし方、社会への貢献	
	13	3C分析とSWOT分析	31	履歴書の書き方・作成	
	14	株式会社について 売り上げ・粗利	32	エントリーシートの書き方、採用者の視点・作成	
	15	給料明細の見方・様々な社会保険	33	自己紹介のしかた(面接を踏まえて)、自己紹介文の作成	
	16	キャリアとは何か、自分なりに考える。キャリアアンカーの見極め	34	総まとめ	
	17	基礎・常識問題、新聞記事、ケースの問題、資料解釈	35	総評・働くということ	
18	試験の総評と、3級合格を目指しての総まとめ、過去問対策	36	面接対策		
成績割合	テスト	70	学習FB方法	随時小テストを実施する。過去問の理解が十分でない場合、個別対応を行う。 100-90点がS、89-80点がA、79-70点がB、69-60点がC、59点以下は不合格とする。 受検した資格試験結	
	学習態度・出席率	15			
	レポート	15	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	文章理解Ⅱ		担当者名	
学 科	航空学科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	公務員採用試験一次突破することを目指し、国語力を高める。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員一次試験の文章理解の問題に対し、解き方を学ぶ。自信をもって誤った選択肢を消去することができるようにする。また、社会人としての漢字力・語彙力を高め、熟語やことわざなどの意味を知り、文章や日常会話での理解を高める。			
授業概要	航空学科2学年と合同授業で、前期は公務員試験対策が中心になる。過去問を踏まえ実践力をつけていく。後期は、様々な文章を読み、要約したり意見交換することで、文章力を高める。また、社会に必要な実用文に慣れる。就職試験対策SPI言語もとりいれ、内定確定までのフォローを継続し指導していく。			
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容
	1	文章合致問題のポイントを知る。テキスト読解。	19	文章の要約をし、社会の問題点を把握する。
	2	過去問にそって、解答・解説	20	文章の要約をし、社会の問題点を把握する。
	3	趣旨把握問題のポイントを知る。接続詞の働き、キーワードの見極め	21	文章の要約をし、筆者の主張を読み取る。
	4	テキスト応用・過去問解答解説	22	文章の要約をし、筆者の主張を読み取る。
	5	空欄補充問題の解き方、空欄の数と答え方	23	SPI Web対策
	6	テキスト応用・過去問解答解説	24	一般常識 就職試験内容
	7	文章整序問題のポイントを知る	25	試験と解答解説
	8	テキスト応用・過去問解答解説	26	コンセンサスのとり方
	9	文章合致問題・趣旨把握問題・空欄補充問題・文章整序問題 テキスト対応	27	会社ゲーム 学生と社会人の違い
	10	国家一般・特別区・警察・海保の過去問対応	28	社会の問題について
	11	古文の解き方のポイント、実践	29	読解し、自身の意見を持つ
	12	漢字の読み、四字熟語	30	読解し、自身の意見をもつ
	13	慣用句・諺・故事成語	31	業界紙・雑誌から興味のあるものを紹介して文を作る
	14	類義語・対義語 語句の成り立ち 敬語	32	記事のテーマを共有、小論文作成に繋げる
	15	時間を図って時間内に指定した問題数を解き、その後チームで正答の解説をする。	33	記事のテーマを共有、小論文作成に繋げる
	16	指定時間内に問題を解き、各自解説できるように、なんとなくで選択しない読解の視点を確認する。	34	卒業を前に、互いを深める
	17	受検種に沿って問題を解く。	35	定期試験とその解説
	18	試験の解答解説、ふりかえりも行い、直前対策とする。	36	総評
成績割合	テスト	50	学習FB方法	成績評価 100-90点がS、89-80点がA、79-70点がB、69-60点がC 59点以下は不合格とする。
	学習態度・出席率	25		
	レポート	25	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%			
講師プロフィール				

## シラバス

科目名	フライトシミュレーションⅡa		担当者名	
学 科	航空学科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	国家公務員パイロット職採用試験における模擬操縦試験での高得点獲得を目的とする。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	フライトシミュレーターを用いて模擬操縦技能を身に付け、採用試験における模擬操縦試験に対応する。			
授業概要	フライトシミュレータを用いて、基礎的な模擬操縦技能・知識を身につける。			
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション	19	空中操作ストール(その3)
	2	オリエンテーション	20	空中操作スローフライト(その1)
	3	オリエンテーション	21	空中操作スローフライト(その2)
	4	学習ガイダンス/シミュレーター操作について	22	空中操作スローフライト(その3)
	5	離陸中断(その1)	23	ILS計器進入方式(その1)
	6	離陸中断(その2)	24	ILS計器進入方式(その2)
	7	計器出発方式(その1)	25	ILS計器進入方式(その3)
	8	計器出発方式(その2)	26	タッチ&ゴー(その1)
	9	直線水平飛行	27	タッチ&ゴー(その2)
	10	水平旋回	28	トラフィックパターン飛行(その1)
	11	空中操作旋回バンク30°(その1)	29	トラフィックパターン飛行(その2)
	12	空中操作旋回バンク30°(その2)	30	トラフィックパターン飛行(その3)
	13	空中操作旋回バンク30°(その3)	31	ハンガー前駐機
	14	空中操作旋回バンク45°(その1)	32	総合操縦演習(その1)
	15	空中操作旋回バンク45°(その2)	33	総合操縦演習(その2)
	16	空中操作旋回バンク45°(その3)	34	まとめ
	17	空中操作ストール(その1)	35	まとめ
18	空中操作ストール(その2)	36	まとめ	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	0%	成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%			
講師プロフィール	担当教員はJASの元パイロットである。			

## シラバス

科目名	自然科学Ⅱe		担当者名	
学 科	航空学科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 36時間
授業目的	公務員試験自然科学分野のうち出題頻度の高い9項目を扱う。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験初級中級程度の自然科学分野で扱う基礎的問題が容易に解答できるようになること。			
授業概要	公務員試験の自然科学分野で出題頻度の高い細胞の構造と働き、同化と異化、岩石と火山などの内容について学ぶ。年度により出題傾向が変わるため項目に変動の可能性がある。			
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容
	1	細胞の構造と働き1	19	
	2	細胞の構造と働き2	20	
	3	同化(光合成)と異化(呼吸)1	21	
	4	同化(光合成)と異化(呼吸)2	22	
	5	岩石・火山1	23	
	6	岩石・火山2	24	
	7	生物の反応と調節1	25	
	8	生物の反応と調節2	26	
	9	地球の岩圏と気圏1	27	
	10	地球の岩圏と気圏2	28	
	11	力のつりあい・運動エネルギー1	29	
	12	力のつりあい・運動エネルギー2	30	
	13	遺伝 1	31	
	14	遺伝 2	32	
	15	人の器官 1	33	
	16	人の器官 2	34	
	17	物質の性質 1	35	
18	物質の性質 2	36		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	講義に合わせた演習を毎回行ない質問を受け付ける。
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>0%			
講師プロフィール	担当教員は専門学校において自然科学分野で十分な教育経験を有し、また現役の電気設備系技術者でもある。			

## シラバス

科目名	英語リーディングⅡa		担当者名	
学 科	航空学科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 54時間
授業目的	航空大学校・海上保安庁航空課程・航空学生(自衛隊)の一次試験突破を目指す。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC公開試験を年2回受験する。目標スコア:650点			
授業概要	英文読解力と速読のスキルを上げる			
授業 計画 表	授業内容			授業内容
	1	英検準2級 英文読解1	19	TOEIC公式問題集1 test1_Part6
	2	英検準2級 英文読解2	20	TOEIC公式問題集1 test2_Part6
	3	英検準2級 英文読解3	21	TOEIC公式問題集1 test1_Part7
	4	英検2級 英文読解1	22	TOEIC公式問題集1 test1_Part7
	5	英検2級 英文読解2	23	TOEIC公式問題集1 test1_Part7
	6	英検2級 英文読解3	24	TOEIC公式問題集1 test2_Part7
	7	英検2級 英文読解4	25	TOEIC公式問題集1 test2_Part7
	8	英検2級 英文読解5	26	TOEIC公式問題集1 test2_Part7
	9	前期中間試験:実力テスト	27	実力テスト
	10	速読練習1	28	TOEIC公式問題集2 test1_Part6
	11	速読練習2	29	TOEIC公式問題集2 test2_Part6
	12	速読練習3	30	TOEIC公式問題集2 test1_Part7
	13	速読練習4	31	TOEIC公式問題集2 test1_Part7
	14	速読練習5	32	TOEIC公式問題集2 test1_Part7
	15	速読練習6	33	TOEIC公式問題集2 test1_Part7
	16	速読練習7	34	TOEIC公式問題集2 test1_Part7
	17	速読練習8	35	単語・熟語テスト
	18	実力テスト	36	学年末期末試験
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	1 on 1 面談
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90-100点、A 80-89点、B 70-79点、C 60-69点、D 59点以下(不合格)
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(retail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)			

## シラバス

科目名	英語リスニングⅡ		担当者名	
学 科	航空学科		授業方法	講義
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	航空大学校の一次試験突破を目指す			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC公開試験を年2回受験する。目標スコア:650			
授業概要	Dictationを行い、retention skillを向上させる。音読練習で正しい発音をマスターする。			
授業 計画 表	授業内容			授業内容
	1	英検準1級①:part1 Dialogs	19	TOEIC公式問題集2 (test2) Part 1~Part4 全部解く
	2	英検準1級①:part2 Passage	20	Part1 & 2 復習
	3	英検準1級①:part3 Real-Life	21	Part 3 復習
	4	英検準1級②:part1 Dialogs	22	Part 3 復習
	5	英検準1級②:part2 Passage	23	Part 3 復習
	6	英検準1級②:part3 Real-Life	24	Part 4 復習
	7	英検準1級③:part1 Dialogs	25	Part 4 復習
	8	英検準1級③:part2 Passage	26	Part 4 復習
	9	前期中間試験:実力テスト	27	単語テスト
	10	英検準1級③:part3 Real-Life	28	熟語テスト
	11	TOEIC 公式問題集2 (test1) Part 1~Part4 全部解く	29	英会話1
	12	Part1 & 2 復習	30	英会話2
	13	Part 3 復習	31	英会話3
	14	Part 3 復習	32	英会話4
	15	Part 3 復習	33	英会話5
	16	Part 4 復習	34	英会話6
	17	Part 4 復習	35	英会話7
	18	実力テスト	36	学年末期末試験
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	1 on 1 面談
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90-100点、A 80-89点、B 70-79点、C 60-69点、D 59点以下(不合格)
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(retail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)			

## シラバス

科目名	情報科学Ⅱ		担当者名	
学 科	航空学科		授業方法	実習
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数 72時間
授業目的	情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学ぶ。プログラミングとはどのようなものか知る。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	情報セキュリティの重要性を理解する。python言語を用い簡単なプログラムを作成実行できるようになる。			
授業概要	情報機器の動作原理を知る。コンピュータで実践しながらプログラミングについて学ぶ。			
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション	19	if文
	2	オリエンテーション	20	いろいろなif文1
	3	オリエンテーション	21	いろいろなif文2
	4	ファイルシステム1 フォルダの作成 移動1	22	いろいろなif文3
	5	ファイルシステム2 フォルダの移動2 名前変更	23	while文
	6	エディターの使い方1	24	for文
	7	エディターの使い方2	25	繰り返し処理を使ったプログラム1
	8	Pythonとは	26	繰り返し処理を使ったプログラム2
	9	Pythonのインストールと実行	27	繰り返し処理を使ったプログラム3
	10	Hello Worldプログラム	28	繰り返し処理を使ったプログラム4
	11	変数、代入演算子	29	繰り返し処理を使ったプログラム5
	12	input関数	30	関数とは
	13	Pythonでの計算	31	呼び出しと戻り値
	14	いろいろな演算	32	位置引数とキーワード引数
	15	文字列の基本	33	課題プログラム作成
	16	文字列の利用1	34	まとめ
	17	文字列の利用2	35	まとめ
18	文字列の利用3	36	まとめ	
成 績 割 合	テスト	30%	学習FB方法	プログラム作成に関するアドバイス プログラム内のミスの指摘
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>4 R<<実働実践型学習>>3 A<<主体的参加型学習>>3 G<<海外体感型学習>>0			
講師プロフィール	教員はソフトウェア開発実務経験がある。			